

** 2012年4月 第5版
製造販売業者の住所変更に伴う改訂等
* 2006年3月 第4版 改訂
<貯法> 遮光した気密容器

日本標準分類商品番号 872619
承認番号 16000AMZ04485000
薬価収載 1953.12
販売開始 1953.12
再評価結果 1992. 6

外皮用殺菌消毒剤

日本薬局方

マーキュロクロム液

(メルブロミン液)

** 販売名：マーキュロクロム液「コザカイ・M」

Mercurochrome Solution

【禁忌】 次の患者及び部位には使用しないこと。

1. 本剤又は他の水銀製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 臍帯ヘルニアの小児
[他の水銀製剤により治療された臍帯ヘルニアの小児の組織標本中の水銀含量を分析した結果、成人及び小児での最小中毒濃度を十分超える有機水銀濃度が、血中及び器官中に検出されたため。]
3. 粘膜面
[生後3ヶ月の幼児に他の水銀製剤を5週間にわたり1日4～6回口内粘膜に消毒綿で適用したところ、最初の3週間を過ぎた頃に、食欲不振、過敏症状が出現した。さらに、その後2週間に、嗜眠、嘔吐、急発作が明らかになり、血中及び尿中水銀濃度は異常に上昇していたとの報告があるため。]
4. 口に触れる可能性のある部位（乳頭等）の消毒
[3.に同じ]

*3. 適用上の注意

投与経路：外用にのみ使用すること。
使用時：(1) 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
(2) 深い創傷に使用する場合は希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

*4. 取扱い上の注意

<配合変化>
(1) ヨードチンキ、希ヨードチンキなどヨウ素製剤とは沈殿を生ずる
(2) 希釈する水に、アルカリ土類金属塩、重金属塩、第二鉄塩、酸類等が存在する場合、変化することがあるので注意すること。

【包装】 500mL

【組成・性状】

本品1000mL中、日局マーキュロクロム20gを含有する。
本品は暗赤色の液である。

【効能・効果】

皮膚表面の一般消毒、創傷・潰瘍の殺菌・消毒

【用法・用量】

(液剤)
皮膚表面の一般消毒には2%液（本剤をそのまま）を、創傷・潰瘍の殺菌・消毒には0.2～2%液（本剤をそのまま～10倍）を用いる。
いずれも症状に応じ1日1～数回患部に適用する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
使用量はできるだけ必要最小量にとどめること。
2. 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
重大な副作用
(1) ショック (0.1%未満)
まれにショックを起こすことがある。呼吸困難、血管浮腫（喉頭浮腫等）、蕁麻疹等のアナフィラキシー様症状を伴うことがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、使用を中止するなど適切な処置を行うこと。
(2) 長期・広範囲使用（頻度不明）
腎障害、骨髄抑制等の水銀中毒を起こすことがあるので、長期間又は広範囲に使用しないこと。

その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
過敏症	発疹、蕁麻疹、そう痒、紅斑、小水疱等

このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止すること。

製造販売元



小堀製薬株式会社

**東京都墨田区両国 4-36-9